

# OFISTAR P300C管理者(リモート操作)パスワード変更方法

## 8. プログラム設定

| 機能／コード                            | 選択内容  |
|-----------------------------------|---|
| 長さ単位を選択する<br>【Ⓜ】【1】【4】【7】         | <p>【1】 “mm” (初期値)<br/>【2】 “Inch”</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 選択した長さ単位は、本商品のディスプレイに測定値を表示するときに使用されます。</li> </ul>   |
| カラー印刷用のパスワードを設定する<br>【Ⓜ】【1】【5】【3】 | <p>この機能を使用すると、カラープリント、カラーコピーをする場合のパスワードを設定して、カラー印刷を制限することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【機能】 → 【Ⓜ】【1】【5】【3】 → 【←】/【▶】</li> <li>2. 機能設定用のパスワードを入力する。 → 【セット】<br/>※パスワードの初期値については取扱説明書をご覧ください。</li> <li>3. 【←】または【▶】を繰り返し押して、“あり”を選択する。 → 【セット】</li> <li>4. 【▼】または【▲】を繰り返し押して、“パスワード変更”を選択する。 → 【←】/【▶】</li> <li>5. 0～9を使用して、新しい4桁のパスワードを入力する。 → 【セット】</li> <li>6. 新しいパスワードをもう一度入力する。 → 【セット】 → 【機能】</li> </ol> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 初期値のパスワードから変更することを推奨します。</li> </ul> |
| リモート操作のパスワードを変更する<br>【Ⓜ】【1】【5】【5】 | <p>Multi-Function Stationを使い、リモート操作で本商品の機能設定を行う際のパスワードを設定、変更することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【機能】 → 【Ⓜ】【1】【5】【5】 → 【←】/【▶】</li> <li>2. 現在のパスワードを入力する。 → 【セット】<br/>※パスワードの初期値については取扱説明書をご覧ください。</li> <li>3. 0～9を使用して、新しい4桁のパスワードを入力する。 → 【セット】</li> <li>4. 新しいパスワードをもう一度入力する。 → 【セット】 → 【機能】</li> </ol> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 初期値のパスワードから変更することを推奨します。</li> <li>● このパスワードはWebブラウザーでの機能設定にも使用されます。</li> </ul>   |
| トナーメンテナンス時刻を設定する<br>【Ⓜ】【1】【5】【8】  | <p>本商品は、24時間に1回の割合で、メンテナンスのために自動的に起動します。これはトナーの凝固を防止するための動作であるため、メンテナンス中に本商品から発生するノイズは停止できません。ただし、本商品のノイズを不快に感じる場合、開始時刻を変更することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 【機能】 → 【Ⓜ】【1】【5】【8】 → 【←】/【▶】</li> <li>2. メンテナンス開始時刻を入力する。<br/>● 初期値の時刻は “12:00AM” です。<br/>● 【▼】または【▲】を繰り返し押して、AMまたはPMを選択してください。</li> <li>3. 【セット】 → 【機能】</li> </ol>   |

## 6. ファクス

### 6.1.3 Web見てから印刷 (LAN接続のみ)

受信したファクス文書をWebブラウザで表示し、イメージを確認した後に、必要な原稿を印刷または保存することができます。

#### お知らせ

- 32 ページ「2.13.2ファクス受信機能一覧」に従い、事前に関連する機能の設定を行ってください。

#### 6.1.3.1 見てから印刷機能を有効にする

- 1 【機能】 → 【F】[4][8]を押す。
- 2 【1】を押して、「あり」を選択する。
  - 【0】を押して、「なし」を選択する。
- 3 【セット】 → 【機能】を押す。

#### お知らせ

- “あり”を選択すると、65 ページ「6.9 受信したファクス文書を表示する」も有効になります。
- “あり”を選択する前に、PCファクス設定 (83 ページの機能#442) を、「なし」に設定してください。
- “あり”を選択すると、メモリーがいっぱいになる可能性があります。受信したファクス文書は、内容を見るか印刷したあと、できるだけ早く消去してください (70 ページ)。

#### 6.1.3.2 Web見てから印刷のアクセスコードを登録する

- 1 【機能】 → 【F】[4][5][0] → 【セット】を押す。
- 2 パスワードを入力する (75 ページの機能#155)。 → 【セット】を押す。
- 3 英数字を使用して、Web見てから印刷のアクセスコード (8文字まで) を入力する (文字入力については98 ページ参照)。
  - 【0】または【1】を使用すると、次の記号も入力できます。  
!@#\$%^&'(-\_{}|
- 4 【セット】 → 【戻る】 → 【戻る】を押す。

#### お知らせ

- Web見てから印刷のアクセスコードが登録されていない (空白) 場合、Web見てから印刷機能を有効にすることはできません。

#### 6.1.3.3 受信したファクス文書をWebブラウザで表示する

#### お知らせ

- 本商品が使用中でないことを確認してください。

- 1 Multi-Function Stationを起動する。

- 2 [ユーティリティ] → [Webサーバー] → [拡張機能設定] を選択する。
- 3 ユーザー名として “root” と入力し、パスワードを入力する (75 ページの機能#155)。 → [OK] をクリックする。
- 4 [Web見てから印刷 (ファクス)] タブを選択する。
- 5 Web見てから印刷のアクセスコードを入力する (70 ページの機能#450)。 → [OK] をクリックする。
  - 受信したファクス文書のリストが表示されます。
- 6 目的のアイコンをクリックして、ファクス文書を表示、印刷、または保存する。
  - 原稿を表示している間、ファクス文書进行操作できます (拡大、回転など)。
- 7 Webブラウザを閉じる。

#### お知らせ

- 表示速度は原稿の内容およびサイズに応じて異なります。
- 受信したファクス文書はイメージファイル (PDF形式) として保存されます。表示するには、Adobe Readerが必要です。

#### “√” の意味 (ファクス文書の消去について)

“√” が表示されている場合、そのイメージは既に表示済み、印刷済み、または保存済みであることを表しています。

- ステップ6でファクス文書を表示した後に原稿を削除するには、[戻る] をクリックして、リストに戻ってください。“√” の表示されているイメージを削除できます。
- ステップ6でファクス文書を印刷または保存した後に原稿を削除するには、[更新] をクリックして、リストを更新してください。“√” の表示されているイメージを削除できます。